

IV-7 雫石地区交通処理対策について

建設省岩手工事事務所 ○立花 義則
中嶋 弘明

1. はじめに

県都盛岡市の郊外（西部）に位置する当該地区は、小岩井農場や雫石スキー場などを有する県内有数の、観光リゾート地域である。特に近年では、良質の雪を楽しめるということもあってスキー客の入込みが増えている。平成5年3月には、世界アルペン選手権が開催予定されており、会場である雫石スキー場に向かう国道46号等は、かなりの混雑が予想される。

本報告は、世界アルペン開催時における当該地域の交通混雑を緩和すべく、広域的な交通処理対策について検討を行ったものである。

2. 大会開催時の交通需要

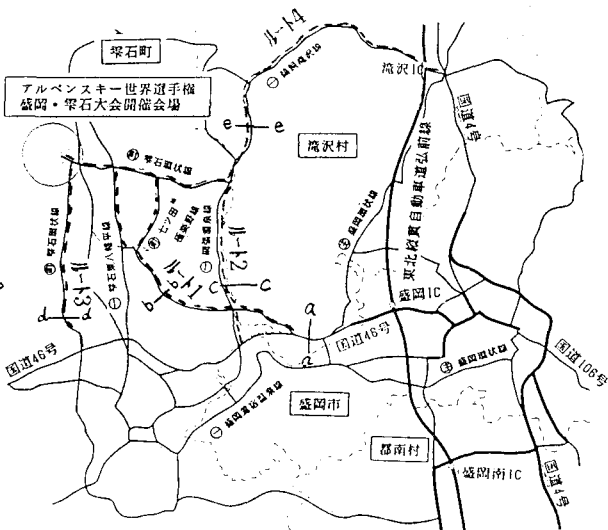
(1) 交通需要推計の基本要件

大会開催時の交通需要推計は、大会期間中最も観光客の入込みが見込まれる男子ゲウンヒル開催日（約3万人の予想）で行う。なお、当日は、10時に競技が開始するためその直前の時間帯に交通が集中し渋滞することが考えられる。よって、ピーク2時間に着目し交通量の把握を行う。配分条件として、事業中のもの及び交通規制方針が、すでに決まっているのは配慮することとする。下記に配慮すべき交通量を示す。

①大会関連交通（観光客の見込み数約3万人）

②小岩井雪まつり関連交通

③在来交通



調査対象地域

(2) 交通需要推計による問題点の把握

交通需要推計の結果から言えるのは、雫石スキー場に向かう主なルートのうちルート1～4は、特に交通混雑がみられないが、国道46号は盛岡方面からの交通が一極集中しやすいため混雑がみられる。よって必要な対策としては、国道46号への負荷を極力少なくすることがあげられる。

大会関連道路の主要地点における需要バランス

比較断面	路線名	11.5平日 在来交通 (台/日)	大会開催時 日交通量 (台/日)	2月休日の在来交通		大会関連 交通量 (台/時)	小岩井雪まつり 関連交通 (台/時)	ピーク時間 交通量計 (台/時)	交通容量 (台/時)	交通需 交通容量
				時間帯	(台/時)					
a-a	国道46号(大釜)	19,060	39,267	8:00~9:00	586	3,751	434	4,771	3,722	1.28
				9:00~10:00	595			4,780		1.28
	(→)盛岡常呂温泉線	2,710	2,600	8:00~9:00	83	0	0	83	895	0.09
				9:00~10:00	85			85		0.09
b-b	(町)上世森七ッ田線 アクセスルート1	2,650	12,276	8:00~9:00	85	2,402	1	2,488	3,466	0.72
				9:00~10:00	86			2,489		0.72
c-c	(→)網張温泉線 アクセスルート2	1,221	12,244	8:00~9:00	39	1,449	436	1,924	3,253	0.59
				9:00~10:00	40			1,925		0.59
d-d	(町)雫石塩沢線 アクセスルート3	342	3,008	8:00~9:00	11	666	0	677	1,005	0.67
				9:00~10:00	11					
e-e	(→)鶴岡滝沢線 アクセスルート4	199	1,141	8:00~9:00	7	147	15	163	920	0.18
				9:00~10:00	7			169		0.18

3 対策の検討

前項により問題提起された国道46号の交通混雑を緩和する対策について検討を行う。現在、国道46号は、交通混雑の緩和を図るため、大釜～繁十文字交差点(小岩井農場入口)まで4車線化の事業を実施している。これにより対応できる計画交通量は約440 百台/日であり、1日当りの混雑解消には対応できる(1日当たり混雑度=0.89)が、イベント関連の交通によりピーク時間当たりではかなりの混雑度(時間当り混雑度=1.28)となる。

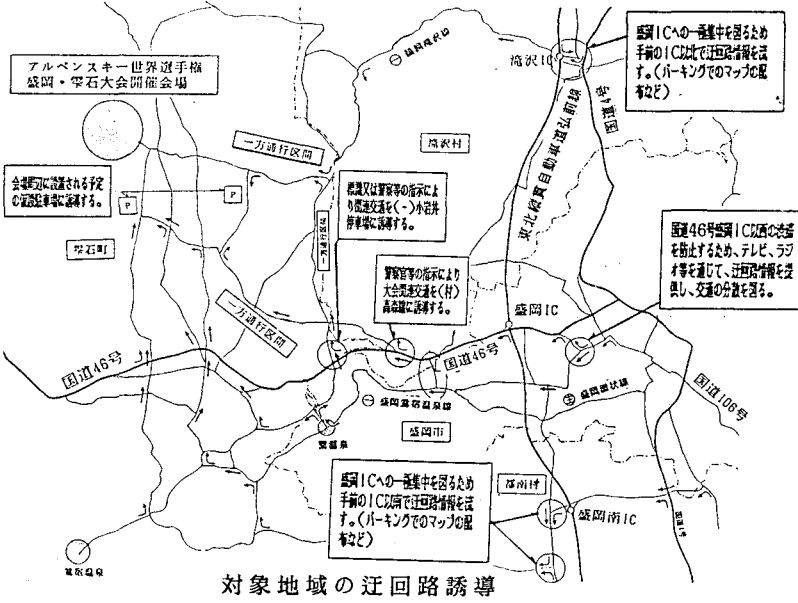
このため、適正な交通の分散を図り交通混雑の緩和を図ることとする。基本的な対策方針としては、次のような点があげられる。

- ①適正な分散のための迂回路誘導
(案内版、路側ラジオ、テレビ、チラシなど)
- ②交通機関分担の促進
(電車、バス(シャトルバス含む)などの利用)
- ③必要な付加車線の設置
(主として右折レーンの整備)
- ④除雪体制の強化

国道46号では、①～②により約16百台/時の交通量を他の道路に分散できれば、時間当りの混雑度が1.28→0.87となるほか、主要地方道盛岡環状線の交差点での飽和度は、1.30→0.90まで低下させることができかなりの混雑緩和となる。加えて、付加車線を設けることにより交通の整流化が図られるため、さらに渋滞緩和がなされる。また、今回は特に言及していないが、シャトルバス(1台で乗用車約15台分)や電車利用が促進されれば、混雑の低減が期待できる。

4. おわりに

イベント時には、一定の時期に大量の交通が集中するので交通混雑が生じやすい。交通の一極集中を最小限にとどめるためには、ネットワークを効果的に利用し適正な分散を図る必要がある。そのためには分散を受け持つ路線の安全確実性の確保、道路管理者・交通管理者による適正な交通誘導などが必要である。特に近年は、イベントに限らず、余暇時間の増大に伴い大規模なレクリエーション施設が増えるなか、そのアクセス道路の整備等が不十分なため、交通混雑を招くケースが多い。よって、施設整備を行う事業主体においても、施設が近辺の道路に及ぼす影響を考慮し整備計画をたてることが望ましい。当該地区においては交通流の確保にむけて今後さらに、関係機関との調整を図り一体的な対策の実施を図りたいと考えている。



対象地域の迂回路誘導

対策後の需要バランス

比較断面	路線名	ピーク時間 交通量計 (台/時)	交通容量 (台/時)	交通量 / 交通容量
a-a	国道46号(大釜)	3,228	3,722	0.87
	(-)盛岡富岡温泉線	682	895	0.76
b-b	(町)上笹森セツ田線 アクセスルート1	1,435	3,466	0.41
c-c	(-)網張温泉線 アクセスルート2	2,047	3,253	0.63
d-d	(町)筆石環状線 アクセスルート3	677	1,005	0.67
e-e	(-)鯉川滝沢線 アクセスルート4	265	920	0.29